

# どうする？

水害から命を守る

命を守るポイント

1

大型で強い台風が予想されるときや事前に大雨が予想されるときは

ためらわずに早めの避難

- 市は大型で強い台風が予想されるときや事前に大雨が予想されるとき躊躇なく避難の情報を発表します。雨風が強くなる前などの早めに避難を開始しましょう。
- 避難を判断し、実行するのはみなさんです。“自分は大丈夫”と考えず、ためらわずに避難しましょう。

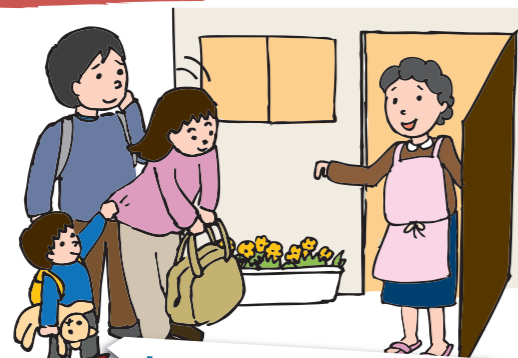


命を守るポイント

2

親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先など各自で避難先を確保

- 市の避難所で収容できる人数は限られるため、各自で浸水のおそれの低い地域の親戚・友人宅や、勤務先や民間の宿泊施設を避難先として確保しましょう。
- 高い建物で想定される浸水の深さ等から浸水するおそれが低い階がある場合には命を守る手段として、在宅避難も可能です。



親戚・友人宅や宿泊施設・勤め先

普段から、避難させてもらえるよう、お願いしておきましょう。

命を守るポイント

3

避難先を確保できないときは、感染症対策の上で指定緊急避難場所へ避難

- 各自で避難先を確保できないときは、躊躇なく市の指定する指定緊急避難場所へ避難しましょう。
- 指定緊急避難場所は感染症対策を実施しています。各自でも感染症対策グッズを持参の上、ルールを守りましょう。

延岡  
北方  
地区版

水害も新型コロナウイルス感染症も各自での対策や準備があなたやあなたの家族、大切な人の命を守ることに繋がります。自分は大丈夫と考えず、まずは各自で対策、準備を実践しましょう。

## 1. まずは、各自で避難先を確保

- コロナ禍では3密を避けるため、避難所の収容人数は従来の1/3となってしまう。
- まずは、親戚・友人宅や宿泊施設、勤務先等の避難先を各自で確保しましょう。

## 2. 各自で避難先を確保できない場合は、感染症対策や準備をしたうえで、市で準備した指定緊急避難場所へ

- 指定緊急避難場所での感染拡大防止のため、日頃から検温するなど体調管理に努めてください。また、避難場所は地域の皆さんとの共同生活となるので、非常持出品（食料・ラジオなど）のほかに、感染防止対策グッズを持参してください。

### 指定緊急避難場所の感染症対策

#### 【3密を防ぐためのスペース確保】

- 指定緊急避難場所では、3密を防ぐために、避難者同士が十分な間隔が確保できるようレイアウトしています。避難する人は、配置職員の誘導に従ってください。

#### 【受付時の健康チェック】

- 指定緊急避難場所では受付時に、避難してきた人の体温チェックや健康観察を行います。

#### 【発熱者等専用スペース、発熱者専用避難場所の確保】

- 指定緊急避難場所でも可能な限り、「発熱・咳などの症状のある人」等のための「専用スペース」を確保します。
- 指定緊急避難場所でも「専用スペース」が確保できない施設があるため、「発熱・咳などの症状のある人」等用の「発熱者等専用避難場所」として右記の4カ所を開設します。

#### 発熱者専用避難場所

延岡市民体育館（大貫町）  
曾木デザイナーサービスセンター（北方町）  
北浦保健福祉センター（北浦町）  
ホテルの館（北川町）

### 指定緊急避難場所での過ごし方

- 避難場所内では必要な場所以外は行かない
- こまめな手指消毒を心掛ける
- 向かい合わずに話す
- 大きな声での会話は控える
- スリッパを履いて移動する
- 体調がすぐれない場合は、早めに申し出る
- 定期的に体を動かす
- 水分はこまめにとる



### 非常持出袋に感染症対策グッズをプラス

- マスク
- アルコールの消毒液やウェットティッシュ
- 体温計
- ハンドソープ（一人にひとつ）
- スリッパ・うわばき（床からの接触感染防止）
- ビニール手袋



発行 延岡市（令和3年3月発行）  
企画・編集 延岡市総務部危機管理室 / (株)アイ・ディー・エー 社会技術研究所  
監修 片田敏孝（東京大学大学院情報学環特任教授）

お問い合わせ 延岡市総務部危機管理室  
TEL. 0982-22-7077  
FAX. 0982-34-5744

保存版

延岡・北方  
地区版



延岡市



# 水害から命を守るためにどうする？

命を守るポイント

## 避難所へ行くことだけが避難ではありません！！



延岡市長 読谷山 洋司

令和2年の台風第10号では、コロナ禍の中、多くの方が家族宅やホテル、指定緊急避難場所などに分散避難されました。幸い、本市には大きな被害はありませんでしたが、もし、あの台風が直撃していたら、市内の広い範囲でこのリーフレットにあるような浸水が広がっていたかもしれません。

避難は、「自宅などの災害リスクを知ること」から始まります。市は、市民の皆さまの「避難」を全力で支援してまいります。片田教授に監修いただきました「延岡市わが家の防災ハンドブック」やこのリーフレットを活用いただき、御自身の避難計画を作成していただければと思います。

## まずはあなたの対応・行動が命を守る唯一の手段

“マスクをする”、“手を洗う”、“3密に行かない”という“あなたの対応・行動”が、感染症からあなたや家族、大切な人を守る唯一の手段です。これは水害時の避難においても同じです。

まずは、各自でしっかり情報に注意し、自分の命を守るために早めに避難を決断・判断するという“あなたの対応・行動”が、水害からあなたや家族、大切な人の命を守る唯一の手段です。

東京大学大学院情報学環特任教授 片田敏孝



# どうなる？

五ヶ瀬川、大瀬川、沖田川、祝子川、北川、小川が氾濫したら

広い範囲で2階床上以上が浸水

2階床上まで浸水する地域が多く、一部では、3階以上の深い浸水となることが想定されています



## 市街地の大半が浸水

広い範囲で浸水継続時間は1日程度となり、一部では、3日程度浸水が引かない

1日～3日程度浸水が引かない

■ 洪水により浸水が想定される範囲  
※浸水想定区域図が作成されていない河川でも浸水する可能性があります  
■ 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

この地図は以下の地図を基に作成しています  
国土交通省九州地方整備局延岡河川事務所  
・五ヶ瀬川水系浸水想定区域図（想定最大規模）＜五ヶ瀬川・大瀬川・北川・祝子川＞  
宮崎県  
・五ヶ瀬川水系浸水想定区域図（想定最大規模）＜五ヶ瀬川＞  
・五ヶ瀬川水系北川・小川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）  
・五ヶ瀬川水系浸水想定区域図（想定最大規模）＜祝子川＞  
・沖田川水系沖田川浸水想定区域図（想定最大規模）